

大津東小

十人十色

平成30年11月16日
学校便り 第13号

大津町立大津東小学校
校長 松原 弘治

「表現力を高めるワークショップ」を行いました。

本校の子どもたちの中には、自己表現をすることを苦手としている子どもも少なくないように思われます。そこで、14日（水）に舞台女優の木内（きない）里美さんを講師にお迎えし、子どもたちに身体表現をする楽しさや言葉による表現の素晴らしさに気づかせるために、ワークショップを行いました。

木内さんは、これまで数え切れないほど多くの舞台に出演しておられ、熊本城400年祭記念公演「空にあお、地にあした」や平田オリザさん演出の「隣にいても一人」などに出演されるなど大活躍されています。

当日は、木内さんのご厚意で、低・中・高学年ごとに、子どもたちの発達段階に応じたワークショップを、それぞれ2時間ずつ行っていただきました。初対面の子どもたちを、あっという間に笑顔に変えてしまう、木内さんのパフォーマンスに、私たち職員も学ぶことがたくさんありました。また、子どもたちの持つ素晴らしい表現力に、改めて私たちが気付く場面も多くありました。今後も、子どもたちそれぞれの表現力を、どんどん引き出していきたいと思えます。



木内さんと自己表現を楽しむ1・2年生の子どもたち

「なかよしフェスタ」に参加しました。



素敵な作品がたくさんそろいました。

大津町と合志市の特別支援学級の子どもたちが集まって、日頃の学習の成果を発表し合う「なかよしフェスタ」が、9日（金）に大津町運動公園総合体育館で開催されました。

本校のひまわり・たんぼぼ学級の子どもたちは、大津南小の子どもたちと一緒に、「なかよし☆ともだちや」のお店を開き、花の苗やアイロンビーズ等の作品を販売したりしました。これまでの学習を生かし、素敵な店員さんとして、おもてなしをすることができました。また、お客さんとしても、それぞれに300円のお小遣いで、他校のブースを訪問し、お気に入りの品物を買物することができました。フェスタを通して、子どもたちは多くのことを学んでくれました。

「グループ学習」に取り組んでいます：その3

今回は、講師に原口淳一先生（大津小学校主幹教諭）をお招きし、7日（水）に5・6年生の算数科の授業研究会を行いました。

原口先生は、本校が進めている取組を、以前から実践しておられる先生で、実際に5・6年生の学ぶ様子を見ていただき、授業後の研究会でご助言をいただきました。

5年生は「面積」、6年生は「速さ」について、子どもたちは複式学級の中で、それぞれの学習内容を進めていきました。担任が一方の学年を指導している時間に、他方の学年



5年生・算数科「面積」：ペア学習の様子



6年生・算数科「速さ」：グループ学習の様子

では、子どもたち同士で主体的に問題を解決しようとしている姿が見られました。

6年生は「速さ」の発展問題で、「うさぎが何分以上寝ると、カメは勝つことができるか？」をグループで考えました。800mのかけっこで、うさぎは「15秒間で10m」進み、カメは「6分間で120m」進むことを手がかりに、ホワイトボードやグラフ用紙をグループで活用しながら学び合っていました。あるグループは「うさぎとカメのそれぞれが、1mを何秒で進むか」を計算し、それ

をもとに最後まで問題を解決することができました。大人が思いつかないような子どもたちの発想の素晴らしさを目の当たりにすることができ、私もとても嬉しく思いました。今後も、子どもたちが主体的に学び合う学習を全職員で進めていきたいと思ひます。

昨年より沢山のサツマイモを収穫することができました。

5月に6年生の保護者のご協力で、みんなで植えたサツマイモの苗も元気に育ち、2日（金）に芋掘りを行うことができました。子どもたちは、宝探しをするかのように、畝の土を丁寧に掘りながらサツマイモを見つけ、驚いたり感動したりしていました。自分で掘り当てたサツマイモの味は格別だったことと思ひます。



1年生も最後まで根気よく芋掘りをがんばりました。